

雷の多発地帯を守る

兵庫発、雷対策のトップシェア企業がアフリカへ

国際協力機構(JICA)は「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において音羽電機工業株式会社(兵庫県尼崎市、吉田修取締役社長)が提案する「ルワンダ共和国における雷害対策の技術移転のための案件化調査」(ルワンダ)を採択しました。

アフリカのルワンダは世界で最も雷の発生件数が多い地域のひとつであり、落雷により年間100名近くが死傷し(注1)、PCや通信機器の故障等も頻発しています。水汲み時など屋外にいる際だけでなく、屋内でも落雷により電流が流れ込み被害にあう、収入源である家畜を落雷により失うなど、雷はルワンダの人々の生活にとって大きな脅威となっています。しかし、雷害対策は不十分で、人々の雷に対する正しい知識も不足しているのが現状です。

音羽電機工業株式会社は、日本での高圧用避雷器市場で約70%のシェアを誇る雷のスペシャリスト。避雷器製造から雷害対策コンサルティングサービスまで総合的な雷害対策サービスを展開しています。同社はインターンシップに来たルワンダ人留学生から現地の雷被害の甚大さを知り、雷害対策を改善したいとの思いから何度も現地を訪問し今回の採択に至りました。今回の調査ではルワンダ災害対策・難民問題省等と協力し、人々に雷害対策技術や機器の正しい設置方法等を伝えるとともに自社の海外ビジネス展開の足掛かりとするための現地調査を行います。



現地調査風景



音羽電機工業で研修を受けるルワンダ人

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注2)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注1) 2016年1月～9月の死亡者30名、負傷者61名

(注2) 案件化調査は、2012年度から実施されており、今回は全国で36件が採択。

参考:(プレスリリース)案件化調査2017年度第1回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001yndld-att/investigation_170308_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 企業連携課 担当 小西

TEL 078-261-0397 e-mail: Konishi.Yoko.2@jica.go.jp